小松市監査公表第4号

監査の結果に基づき講じた措置について小松市長から通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、次のとおり公表する。

令和6年6月28日

小松市監査委員 西村 一 伸

小松市監査委員 表 靖 二

財政援助団体等監査の結果に対する措置状況

- 1 監査の種類 財政援助団体等監査
- 2 監査の対象 指定管理者 社会福祉法人 吉竹福社会
管理施設 小松市立のしろ児童館
所管課 こども家庭部 子育て環境課
- 3 監査結果の公表年月日 令和6年4月22日（小松市監査公表第1号）
- 4 措置通知の受理年月日 令和6年5月31日
- 5 監査の結果及び措置の内容

監査の結果	措置の内容
<p>指摘事項</p> <p><社会福祉法人 吉竹福社会></p> <p>指定管理者としての事業運営のうち、施設の管理は、概ね適正に執行されていると認められたが、会計処理等については前回指摘に続き、今回の監査においても支払処理で複数の不備が確認されるなど、改善されたとは言い難い状況が見受けられた。</p> <p>指定管理者は、公の施設の管理者として指定を受け、公金である指定管理料により管理運営されていることを踏まえ、今後、所管課の指導に従い適正に業務執行されるよう求めるものである。</p> <p><子育て環境課></p> <p>市は施設の設置者として、指定管理者が業務を適正に履行しているか、会計や運営の状況を把握し、適切に管理運営させる責任を有している。そのため、収支の状況や業務の遂行状況を十分に検証し、必要な調査や指導を行う必要がある。</p>	<p>前回監査を踏まえ改善してきた点はあるものの、一部において新たに指摘がありました。</p> <p>新たに会計専担者を雇用しチェック体制強化に努めます。</p> <p>指定管理者が業務を適正に履行しているか確認を行うため、協定書及び業務仕様書に定められた業務について、毎月指定管理者から提出される業務報告書により施設管理業務や自主事業の実施状況、施設の利用状況、苦情や要望等を把握している。</p>

監査の結果	措置の内容
<p>しかし、今回の監査では、前回の指摘事項が活かされておらず、収支の状況について市の実態把握が不十分であり、指定管理者に対する指導・監督責任を十分に果たしているとは言い難いものであった。</p> <p>指定管理者に対し適切な処理を行うよう指導し、改善状況を確認・点検するとともに、所管する他の指定管理施設についても会計処理等が適切であったか確認されたい。</p>	<p>また、都度、現地確認を行い、業務の遂行状況や人員体制などの現状把握に努めているほか、必要に応じ、指定管理者に対し適切な管理運営に資するよう助言、指導を行っている。</p> <p>なお、収支状況については、年度末に指定管理者から提出される収支決算書により、指定管理料の収支状況をモニタリングすることで指定管理業務が安定的に継続されているか確認している。収支決算書の確認にあたり、収支明細書のほか取引の基礎となる契約書や請求書等の証拠書類の提出を求めているが、今後は、所管する他の指定管理施設を含め、収支決算書のほか、収支の状況を確認するうえで必要な書類を確認することにより、収支の状況について実態把握を行い、会計処理が適切であったか確認を行う。</p>